

おみせ・イベント・相談会～お休み頂く企画もありますが、営業しているのがあります

	べらしお福祉住吉東店	コブシ・カフェ	手づくりショップパンフ	Café コロたま
こんなお店	おいしい塩ラーメンが名物	おいしいコーヒーとサンドイッチがですか	オガリ作業所のお店。パンやパウンドケーキが売ります	阪和線我孫子町駅近く。安くておいしいランチをどうぞ
開店曜日	月～金	月～金	月～金	月～金
開店時間	11:30～13:30	9:30～14:30	10:00～16:00	11:30～14:30
備考		11日(月)はお休みです		
	FamilyFriendlyらふら	みんなのマーケットるびなす	田辺大根堂	オレンジカフェななしのごんべい
こんなお店	子育て支援のグッズ販売しています	堺市南区高倉台の就労支援スーパーです	なごみ玄関でとれたて野菜と壱岐の乾物販売	であい2階地域交流スペースで開催する認知症カフェ
日にち	火～土	月～土	毎週木曜日	11/13(土)
時間	10:00～16:00	10:00～17:00	10:00～15:00	13:30～15:30
備考				



パンプ 今月の一品

素朴なあじわいのあんぱん。切りこみから顔をのぞかせるこしあんはすっきりとした甘さです。区役所や住吉大社の初辰販売で大人気のパンです。

知的障がい者ガイドヘルパー養成講座

11月講義・12月実習コース(申し込み締切11月17日)

【講義】: 11月27日(土)・28日(日)(9:30～17:30 ぐらい)

【実習】: 12月の土日の内から1日ですが、平日に実習日が設けられることもあります。

【受講料】 学生5,000円 一般15,000円(消費税・テキスト代込み)

※講義1日目に現金でお支払い頂く形になります。

※受講料は講習の修了・未修了にかかわらず返金できませんのでご了承下さい

【講義会場】 大阪市住吉区帝塚山東5-8-3

【お申込み】 電話06-6676-0753

メール hp@lifesupport.or.jp

武村まで



ライフサポートだより

Vol.218 2021年11月号

(社福) ライフサポート協会
〒558-0054
大阪市住吉区帝塚山東5-10-15
TEL 06-6676-0753
ホーム <http://www.lifesupport.or.jp>
メール info@lifesupport.or.jp



つみき「ダンスでつながろう学びの場」

つみきは18歳以上の障がいのある方々が利用しており『福祉型専攻科・学びの場』と呼ばれ日々活動しています。8月の終わり、同じ専攻科6つの事業所の学生さんがリモート上で集まって交流をする「学びの場リモート交流会」が開催されました。コロナ禍でなければ大きな会場の舞台上で音楽や劇などの発表会をするのですが、去年からリモートの形式で交流をしています。



今年は【ダンスでつながろう学びの場】と題し、各事業所が選んだ曲を流し、体を動かしました。

つみきからは昨年度より練習している「どれみふあアンパンマン」、ディズニーからモアナの曲「どこまでも」、ワンダイレクションの「Live While We're Young」を選曲し、この日のために練習を重ねました。週1回あるダンスの時間を使い、曲のイメージを膨らませて動きを決め、学生さんとスタッフとで構成、小道具なども準備しました。

当日は地域のボランティアの方、他部署のスタッフにも協力をいただき3台のカメラを使って撮影、壁に映し出した画面に他の事業所の学生さんが映っており、画面上で交流することができました。他の事業所の学生さんがリクエストした曲の中に知っている曲があると熱唱する学生さんもあり、途中おにごっこが始まったり…しながらも、カメラに向かってしっかりと練習の成果を見せておられた姿は感動的でした。きっと思い出に残ったのではないかと思います。



特集：当事者が語る

「障がいのある人のひとり暮らし」

多くの障がいのある人にとって、同居する家族の介護があって生活が成り立っているのも現実ですが、他方で家族からの自立も大きな課題になります。ライフサポート協会ではグループホームの運営もおこなっていますが、安定経営には程遠い運営費や、夜勤スタッフの確保困難など問題も多いです。同時に「ひとり暮らし」をする当事者の方もおられます。今回、大領COCORO生活介護を利用される3人の方に暮らしの実情などをお話ししていただきました。

◆YNさん

私の趣味は音楽をききながらぬり絵をしたり、クイズや音楽番組を観ることです。また、ヘルパーさんと外出して一緒に映画やイルミネーションを見たり、買い物するのも大好きです。私の障害は水頭症と脳性麻痺で、普段は電動車椅子で生活しています。高校生の頃から夢だった一人暮らしを始めて10年になります。学生の頃は放課後デイや、ヘルパー制度もなく、今よりも介助を受けることも多く、自分の好きな時間に好きな事ができなかったのです。

ただ、今は今でコロナ等の影響もあってヘルパーさんが少なく、希望の時間に来てもらえないことも多く、現状を役所に伝えても介助者が同行していないと、真剣に受け止めてもらえずパニックになることもありました。



子どもの時からリハビリを続けて色々できることが増えたのは嬉しいけど、できることが多いと、ヘルパーさんも短時間しか来てもらえないので、複雑な気持ちです。一人暮らしは大変なことも多いけど、その人にしかできないこともたくさん見つけられると思います。そして、私は得意な文章で、一人暮らしの楽しさを伝えていこうと思います。

◆宮谷優貴さん

私は脳性麻痺で車いす利用をしています。ヘルパーさんの利用時間は平日の朝、8:00~9:30は洗顔・着替え・朝食の準備といった介助とその後の15分間でCOCOROまで送ってくれます。

夕方のお迎え30分のヘルパー利用後、夜は6:00から10:00の間で、お風呂と晩ごはんの用意をしてくれます。外出は、月1回の日曜日です。一人暮らしをして困るのは、ヘルパーがいない時はトイレが心配なことです。もっとヘルパーさんを使える時間数がたくさんあればいいな。と思います。



◆田上彰洋さん

私は頸椎損傷（首から下完全麻痺）、人工呼吸器使用で全面的な介助が必要です。水金はCOCOROの生活介護で、月土は自宅でヘルパーさん2名介助でお風呂に入れてもらっています。

ヘルパーは1日10時間支給されていますが、就寝とお風呂で時間数を使い切ってしまうので、日中は口に咥えた棒でパソコンのキーボードを押しながら会社で事務仕事をしています。

ヘルパーさん不在時は、家族に介護してもらっているか、やむなくひとりである場合は、パソコンが携帯で外部連絡を取れるようにしていますが、それらのボタンを押している棒が落ちると外部連絡が取れなくなるので、その際、排尿カテーテルや痰が詰まり死にかけた事が何度かあるので、恐怖を感じることもあります。でも何とか工夫して頑張っています。



グループホームに入居されている竹原さんは地域の防災リーダーとして勉強会や訓練に参加されています。今回、自ら名乗りを上げて、じらふヘルパーの勉強会のうち10分を持ち時間として研修の講師をされました。「この動画みんなにみてほしい」と大阪府消防局のYoutube動画を紹介したり、「グループホーム夜勤スタッフ募集中！」も入れたいと言われたり、ご本人の思いが詰まった時間になりました。ありがとうございました。



「利用者さんが語る防災」研修おこないました

障がい者グループホーム夜勤スタッフ募集

グループホームとは、障がいのある方々が少人数で、ご自分の住まい（家）として生活されている場所です。食事配膳やお薬のお手伝い、お話し相手、トイレや入浴など入居者さんの生活全般の支援になります。未経験の方でもできるお仕事です！学生さんから60代の方まで、年齢・性別問わず様々な方が働いています♪

無資格・未経験でもOKです

月1回から勤務OKです

アルバイトの掛け持ちもしやすいです！
【勤務時間】18時～翌朝9時(相談に応じます)
【給与(日給)】大領15,100円・住吉13,200円
※交通費別途

【お問い合わせ】大阪市住吉区帝塚山 東5-8-3

電話06-6678-7572 メール giraffe23@lifesupport.or.jp
住吉総合福祉センター 障がいグループホーム担当まで

